

令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立石浜小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要点を捉えながら読むことが困難な児童が多い。 既習漢字や語彙の定着に関して個人差が大きい。 話の内容や中心を明確にして、相手に分かりやすく説明や話をすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の要点を整理しながら読む力。 相手に分かりやすく伝えるための方法を考える力。 必要感をもって、意欲的に学習に参加しようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読む際は、段落ごとに要点をまとめたり、全体の要旨をとらえたりする活動を設定する。 漢字や語彙の定着に向けて、個別練習とテストを計画的に繰り返し行う。 話の中心を意識できるように、要点をまとめ、聞き手に分かりやすく説明する練習の場を設定する。 国語の授業だけにとどまらず、日常生活や他教科の時間にも、言語活動を積極的に取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 正確に計算する力が乏しい児童が多い。 文章問題を理解することが難しい。 時間の読み取り等視覚的な情報を基に考えることは得意である一方で、概念的、抽象的な問題が苦手である。 自分の考えを他者に分かりやすく、筋道立てで説明することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確で、速い計算力。 問題文を正確に捉え、解決方法を適切に選択する力。 概念的な問題を分かりやすく捉える力。 自分の考えを表現し、相手に筋道立てで論理的に説明する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な反復練習や、考え方や手順を確認する場を設定する。 図や表を用いて情報を整理させ、段階的に解決手順を示したり、解決の話し合う場を設定したりする。 具体物や体験的な活動と結びつけていく。 授業の中で個別学習の時間と集団発表の時間を確保し、自分の考えと他者の考えを比較・検討する場を設定する。
授業規律 (生活指導)	<ul style="list-style-type: none"> 次時の学習準備を事前に行うことが難しい。 話を聞く正しい態度が不十分である。聞いて理解することが苦手である。 物の管理や保管を苦手とし、忘れ物が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって準備する力。 他者の気持ちを考えて、適切な言動をする力。 問題解決のために自分にできることは何か考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備の時間に行うことの優先順位を確認し、適切に準備ができている姿を価値付ける。 教師が児童のよさを確実に見取り、伝えることを通して、自己肯定感を高め、自分のよさを実感できるようにする。 児童の考えを表現しやすい学級作り、授業作りを行い、主体性を高めていく。

